

上尾市市民活動支援センター情報紙



むすびん

令和6年
4月
第52号

〒362-0075 上尾市柏座一丁目1番15号
TEL : 048-778-1810 FAX : 048-778-1820 E-mail : s53500@city.ageo.lg.jp

第4次上尾市市民活動推進計画を策定しました

第4次

上尾市市民活動推進計画

みんなで住みよいまちをつくる 市民活動のまち あげお



2024年3月
上尾市

基本
理念

みんなで住みよいまちをつくる
市民活動のまち あげお

行動
指針

- 自分のこととして考えよう
- できることから始めよう
- 活動の輪を広げよう



2024年度から2028年度までの市民活動のビジョンを計画に決めました。

この5年間で地域や社会が抱える問題の解決のために、上尾市と市民活動団体の協働を推進し、市民が活躍する場を一層広げる取り組みを進めていきます。

※閲覧は上尾市ホームページでご確認ください。

令和5年度 市民活動のための「スマホのLINE活用教室」を開催しました

2月15日(木)市民活動支援センターで講師に藤田文雄さんをお迎えして、12人の受講者が市民活動に役立つLINEの活用方法を学びました。

受講者同士でLINEの友だち追加をし、LINEのグループを作って日程調整・イベントなど効率的に連絡を取る方法を学ぶと、「知りたかった機能を教えてもらった」「知らない世界が少し見えてきた」「このような講座を多く開催して欲しい」などと、とても意欲的でした。



令和5年度「上尾市協働のまちづくり推進事業」で採択された5つの事業のうち、1団体の事業の取り組みを紹介します。

街のとまり木@アトリエコルト

一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ
(所管課：子ども家庭総合支援センター)

不登校の子どもの居場所づくりに取り組む本事業は、2月24日(土)文化センター中ホールでドキュメンタリー映画「ゆめパのじかん」の上映会を開催しました。「ゆめパ」とは、「川崎市子ども夢パーク」の略称で、約1万㎡の広大な敷地に手作り遊具や泥んこ遊びなど、子どもが自由な発想で遊べるプレーパークです。映画は、そこで遊ぶ子どもたちの姿や、園内に開設された不登校の子どもたちの居場所「フリースペース・えん」での活動を紹介し、映画のあと感想などを語り合うワークショップが行われました。



令和6年度『上尾市 協働のまちづくり推進事業』 事業提案を募集中です!! 締め切りは4月23日(火)

上尾市では、市民活動団体と市との協働を推進するため「協働のまちづくり推進事業」を募集し、その中から協働にふさわしい事業を採択して実施します。詳しくは、市ホームページの市民活動支援センターに掲載している募集要項をご覧ください。

補助金額は、**新規事業は上限40万円、継続事業は補助対象経費に補助率10分の7を乗じた額と35万円とを比較して少ない額の補助金を交付します。**

提案回数は、同一団体、同一事業は**2回まで**となります。

※お問い合わせ、ご相談は上尾市市民活動支援センターまで



市民活動体験教室「はじめの一步」

ひねり竹とんぼ作り指導者教室を開催しました

2月24日(土) 市民活動支援センター会議室で、ひねり竹とんぼ作り指導者教室を開催しました。参加者5人が、講師のアップー竹とんぼクラブのみなさんからひねり竹とんぼの作り方を教わりました。竹とんぼの羽となる竹片を紙やすりで削り、左右のバランスを調整した後、火であぶって軸をつけます。参加者たちは、最初は不安げな手つきでしたが、慣れてくると2~3本作れるようになり、それぞれ模様を描いてオリジナルの竹とんぼを完成させました。最後に、みんなで竹とんぼを飛ばして楽しみました。参加者からは「とても分かりやすい説明でした」「孫と楽しく遊びたいです」などの感想が寄せられました。



▲個別に丁寧に指導



▲竹を火であぶる様子



▲飛ばし方のコツを教わります





リーヴァ

ReVA復興ボランティアチーム・上尾

設立 2012年1月22日

会員数 38人

代表 市川 富代子さん

連絡先 080-6781-0311

Eメール team.ageo.saitama@gmail.com



■ ReVAとは

Recovery Volunteer team Ageo の略称。東日本大震災があった2011年6月から実施された上尾市社会福祉協議会ボランティアバス事業の参加者有志が結成した、市民ボランティアチームです。各地で起こる災害の復旧・復興支援と、今後起こりうる災害の防災活動を目的に活動しています。

■ 主な活動内容

① 復興支援

地震・水害・台風・大雪などで被災した方の生活再建（家財道具の運び出し、床下の泥出し、断熱材の撤去など）、思い出の品の選別、写真洗浄、支援物資輸送、仮設住宅のサロン活動、街頭募金など

② 防災活動

防災意識を高めようと消防士らを講師に救急救命講習や実技研修を実施

③ ネットワークの形成

聖学院大学や技術系NPO、日本搜索救助犬協会など他団体とも連携し、さまざまな職種の得意分野を生かした取り組みを促進

④ 啓蒙活動

県内各地の社会福祉協議会が主催する「災害ボランティア養成講座」。自治会や企業向けの講演会・研修。また、被災地復興応援イベントでの物品販売や災害時のお役立ち便利グッズの紹介など、防災減災の啓発活動

置の搬出体験



活動の詳細



Facebook

被災地で災害ボランティア活動をする際の心構え

- 事前にボランティア活動保険に加入する
- ケガをしないような服装と装備
- 被災地に迷惑をかけない
- 被災された方の話を聴く
- 被災された方のペースで行う



義援金のご協力を
お願いします



日本赤十字社ホームページ⇒



■ 能登半島地震の被災地へ届け

元日に襲った震度7の能登半島地震では、建物の倒壊、火災、津波で多くの人が犠牲となり、避難生活を余儀なくされました。ReVAはまず1月6日から計9日間、上尾駅改札前や川越駅前街頭募金活動を行い、支援を呼びかけました。たくさんの方が募金に応じてくれ、集まった義援金は日本赤十字社を通し被災者に全額届けられました。

▼街頭募金の様子



▼物資の積み込み



被災地では必要とする物資が日々変わります。ReVAは自治体と調整しながら、食料や水、大人用/子ども用おむつ、ブルーシート、簡易トイレなどの救援物資を被災地に運びました。断水が続き、炊事・洗濯・入浴ができない中、特に深刻だったのがトイレ問題でした。いくつかの避難所や自主避難所を訪問し、トイレ事情を視察。生活用水の確保提案をさせてもらったり、避難所運営の職員が少しでも休めるよう避難所のトイレ掃除も行いました。また、対話による健康チェックを行いながら、不安を抱える被災者には、何気ない会話の中から困りごとを聞き出して寄り添い、地元で立ち上がったチームにつながりました。さまざまなNPOとのつながりの中で、炊き出し応援や訪問調査、災害廃棄物の搬出のほか、道路開閉や車の救出、貴重品の取り出し、ブロック塀の解体、壁剥がしなども行いました。

■ 私たちが今できること

現地に行けなくてもできる支援はたくさんあります。災害義援金の募金をする、被災地で生産されたものを購入する、観光で訪れるなども復興支援につながります。ReVA代表の市川さんは「被災地では飲料水や生活用水の貴重さを身に染みて感じました。災害を自分のこととして捉え、今なお困っている被災者のことを忘れてはいけません」と話し、「**私たちが今できることは、被災された方が元の生活に戻れるよう、長期の支援を行うこと。**そして平時から自分の身を守る備えをし、身近で災害が起こった時にどう動くべきか家族と話し合い、隣近所で助け合える関係性を築いて行くことが大切です」と訴えました。





イベント・ボランティア掲示板



※掲載中のイベントは中止になることがあります。事前にお問い合わせください。

令和6年度 市民活動体験教室「はじめの一步」

木目込み人形作り体験教室

木目込みという伝統技法をつかって「扇」をつくります

日時：6月25日(火) 9:30～12:00

会場：市民活動支援センター会議室

対象：どなたでも

定員：10人（申込先着順）

費用：700円（材料費）

講師：木目込み人形の会

持ち物：はさみ、ボンド、木目込みヘラ（目打ち可）、おしぼり

申込：6月1日(土) 9:00～受付 市民活動支援センターへ



センター入口のショーケースで木目込み人形の作品を展示中。ぜひご覧ください♪



入場無料

♪春の虹色コンサート♪

みんなで童謡・歌謡曲・演歌・フォーク・JPOPなどを楽しく歌いましょう!! どなたでもお気軽にご来場ください。

日時：4月27日(土) 開場 10:00

開演 10:30～15:30

会場：埼玉県障害者交流センター ホール

※さいたま市浦和区大原3-10-1 有

※さいたま新都心駅無料シャトルバス有

定員：200人（入場自由、会場内で飲食可）

主催：音楽ボランティア虹色

問合せ：☎070-1183-2807（吉野さん）



■会員募集■

上尾自分史友の会では、一緒に活動する会員を募集しています。自分の半生を振り返り、文章や写真で生きた証を残してみませんか。

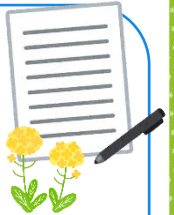
例会
日時：奇数月の第3土曜日
13:00～17:00

会場：コミュニティセンター
または文化センター

会費：月額 750円
(含・年刊『会誌』10冊配布代金)

連絡先：上尾自分史友の会

☎048-722-6235（大貫さん）



今どきの小学生のランドセルはカラフルで、新一年生は好みの色を選ぶのに迷いそうですね。ランドセルには学習用タブレットパソコンが入るそうです。◆次号からは、むすびん編集部も新たな担当に変わり、よりフレッシュな市民活動情報をお届けしていきます。（直・明・枝）

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています！

◎編集・発行 **上尾市市民活動支援センター**



開館日：火～日 午前9時～午後9時（日曜は午後5時迄）

休館日：毎週月曜、火～金の祝日、年末年始

電話：048-778-1810 ファクス：048-778-1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/

X(旧ツイッター)：@Ageo_shiminkatu

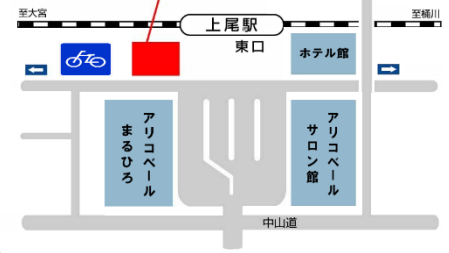


公式X(旧ツイッター)で情報発信中！フォローお願いします

情報紙タイトル「むすびん」は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつきたいという思いを含めています。

【案内図】

上尾市市民活動支援センター
プラザ館 3階



公式X(旧ツイッター)で情報発信中！フォローお願いします